

## コンスタンス大学での長期滞在を終えて

理学系研究科物理学専攻 博士課程 2年 湯本 郷

ALPS 海外長期派遣を利用してコンスタンス大学（ドイツ）のライテンシュトーフナー研究室を三ヶ月間訪問した。ライテンシュトーフナー研究室には複数の Lab があり、その中でも高強度テラヘルツパルスを用いた半導体の物性研究を行っている kHz Lab にお世話になった。

高強度テラヘルツパルスの発生にはいくつかの方法があるが、kHz Lab では二つの OPA からのパルスの差周波を GaSe 結晶から発生させることによって極めて高強度のテラヘルツ電場を得ている。このテラヘルツ強電場を用いて、高強度電場下における半導体の極限物性を調べるために、高強度テラヘルツバイアス・可視プローブ分光を行った。

この長期滞在では、日本人が一人もいない環境の中で研究生活を送るという非常に貴重な体験をすることができた。この素晴らしい機会を与えてくださった ALPS 並びにライテンシュトーフナー教授、面倒を見てくれた研究室のメンバーに感謝したい。

